

令和6年度 第二次交野市環境基本計画協働事業 事業評価

交野市と交野みどりネットは、以下の事業を協働で行い、成果を上げました。

令和6年4月1日～令和7年3月31日

事業名	事業内容	実施回数	実施日	みどりネット等 参加人数(人)	一般参加 人数(人)	
脱炭素社会 事業	再生可能エネルギーの導入促進	里山整備による伐採竹木のバイオマス発電活用	1	2/17	3	—
	身近なグリーンインフラ	「みどりのカーテン大作戦」 種植え付け	1	4/15	15	3
		「みどりのカーテン大作戦」 講座	1	5/18	11	29
		「みどりのカーテン大作戦」 苗配布	3	5/18,20,21	16	180
		「みどりのカーテン大作戦」 写真展(2日間)	1	9/20,21	10	—
	ゼロカーボンアクション30の推進	省エネリフォーム講座	1	2/18	9	16
	スマートムーブの推進	自転車散歩&ぶどう狩り	1	7/21	9	9
自転車散歩&みかん狩り		1	11/3	10	10	
	小計	10		83	247	
資源循環 事業	ごみを出さないライフスタイルの普及	みどりネットクッキング 「竹の器で水ようかん」	1	6/1	6	17
		四交クリーンセンター見学	1	12/3	5	8
	ベンガラ染め体験	「水道水から学び！ベンガラ染め体験」	1	8/1	7	19
	リユースの場の拡大	リユース子ども服～仕分けします～	1	2/4	11	2
		リユース子ども服～お譲りします～	1	3/9	11	340
	小計	5		40	386	
自然共生 事業	里山保全活動	「夏休み環境教室」2024	1	7/31	14	12
		里山保全実践活動(月3回程度)	25	4~7,9~3月	339	111
	生物多様性の保全	生きもの調査(交野しぜんしらべたい)	11	4~7,9~12,2~3月	125	35
		「ワクワク散歩～レンゲ畑で遊ぼう」	1	4/20	7	8
		「ワクワク水遊び～天野川を知ろう！」	1	8/18	10	15
		「ワクワク自然工作～リースを作ろう！」	1	11/17	13	25
		「ワクワク散歩～ 食べられる草を見つけよう」	—	雨天中止	—	—
	観光資源との関わり	交野大好きウォークラリー2024	1	11/23	45	189
		小計	41		553	395
		合計	56		676	1028

77(来場者数)

[各事業ごとの評価]

脱炭素社会事業

●里山整備による伐採竹木のバイオマス発電活用

- ・整備活動で伐採した竹を活用し、初めてバイオマス発電に活用
- ・今後も継続していく予定

●「みどりのカーテン大作戦」

- ・種まきスタッフを初めて募集した。準備の大変さを知ると共に、作業を楽しまれ、募集して良かった。来年度も引き続き募集
- ・育て方講座はほぼ定員に達し、配布においても開始時間前に多くの市民が集まった。段々と市民が関心をもつようになっている。
- ・写真展の会場が例年の「青年の家」が工事で使用できなかったため、「星の里いわふね」で実施した。
- ・青年の家より来場者は少なかったが、来場者にはみどりのカーテンの取り組みについて周知できた。
- ・ゴーヤのみどりのカーテンの認知度はそれなりにあるが、講座や配布を知らない人がまだいるようだった。

●「省エネリフォーム講座」

- ・「住宅省エネキャンペーン」の実施とうまく時期をあわせて開催できた。
- ・補助金の紹介や実際の窓リフォーム工事について学習できたとの感想もあり、省エネと窓断熱の重要性について周知できた。

●「自転車散歩&市内巡り」

- ・令和6年度はぶどう狩りとみかん狩りの2回を実施
- ・スタッフの確保と安全面から15名の定員とした。
- ・みかん狩りやぶどう狩りに興味を持って参加しているが、自転車の走行ルールとあわせてスマートムーブの推進についても周知できた。

資源循環事業

●「みどりネットクッキング」

- ・初めてのエコライフGと自然環境Gのコラボ企画
- ・里山のお話では整備の重要性を伝え、竹の活用として器を作成しプラスチック容器を使用しないことを紹介
- ・ようかんを冷やしている間に、プラスチックごみの分別等を説明した。
- ・エコと自然の連携に不備もあったが、参加者は「普段できない経験ができた」と感想にあった。

●「施設見学会」

- ・今年度は四交クリーンセンターに市のバスを利用して行った。
- ・募集人数に対して少人数にはなったが、見学された方はゴミの減量、分別について熱心に質問をされていた。

●「ベンガラ染め体験」

- ・水道局職員から交野の水道について学び、普段使用している水道水の工程からベンガラ染めの材料がとれることに関心していた。
- ・小学生低学年でも手軽に体験でき、ベンガラ染め体験を通して、地下水の大切さ、資源の循環について周知できた。

●「リユース子ども服」

- ・初めて取り組んだ事業で、回収や配布方法等他市の事業を参考に試行錯誤で行ったが、特にトラブルなく事業を実施できた。
- ・回収した子ども服は短期間しか着ないせいとかきれいなものも多く、多くの市民が参加しとても好評だった。
- ・回収、配布とも今後もぜひ行ってほしいという感想も多くあり、改善しながら継続していく。

自然共生事業

●夏休み環境教室

- ・工作を通して、里山整備の大切さや竹の活用を周知できた。
- ・申し込み開始からすぐに定員に達し、人気の講座であるが、ノコなどを使用するため、安全面や準備の観点から募集人数が15名と少数になる。
- ・今後は参加人数を増やせる内容を検討

●「里山実践活動」

- ・里山講座で関心を持ったり、里山ボランティアで参加された市民や学生の多くが継続して活動し、昨年の活動人数より120人以上も活動人数が増えた。
- ・里山整備活動に参加した方には適宜交野市の山の現状を伝え、里山整備の重要性、竹の伐採の意味を周知している。
- ・みどりネットの会員も少しずつではあるが、増え新規スタッフとして活動している。

●「生物多様性の保全」 [いきもの調査]

- ・昨年3回行った虫調べを今回は1回に減らしたが、虫に特化した調査は回数を減らさず、来年度はせめて2回は実施する
- ・毎月のいきもの調査は減ることもなく、一定の人数で継続実施されている。
- ・祝日開催で、小学生が参加できた。今後も年に何回か休日に開催し、参加対象者を広げることを検討

●「生物多様性の保全」 [ワクワクシリーズ]

- ・「レンゲ畑で遊ぼう」は学びの場の提供と考え、参加対象を小学生以上にすると参加申し込みが少なくなった。
- ・「天野川を知ろう」では小学生を対象とし、保護者は付き添いで参加して募集定員を増やすことができた。

●「交野大好きウォークラリー2024」

- ・今年は紅葉の時期と少しずれていたため、当日の来場者が昨年より少なく、ゆったりと進めることができた。
- ・当日の受付で声をかけ参加される方が多数だが、参加者からは「勉強になった」「環境について知らないことを知ることができた」と回答されていた。
- ・気候変動から特定外来種クイズなど、クイズを通して環境の色々な面から参加者に周知することができた。

【総評】

今年度も昨年度に引き続き、市民・事業者・行政の三者協働で取り組み、各種活動を実施した。イベントは、昨年度と内容が違ってもあったが好評であり、様々な分野で環境に関する啓発を推進することが出来た。初年度から課題となっていた広報発信力について、効果が出ているように思う。今後もホームページやSNSによる情報提供を行い周知に努める。また、重要な課題である担い手不足については、なかなか進展がない状況であり講座等の参加者から担い手へと発展するようなプロセスの工夫を継続して行う必要がある。全体的には、基本計画に掲げるビジョンの実現に向けて、今後もパートナーシップによる推進体制が重要となる。